

LEATHER 2026 H16 FESTIVAL

11/6(fri) 11/7(sat)

【開催日時】

日時：2026年11月6日(金) 7日(土)

開場：10:00 閉場：16:00

場所：姫路市花田町小川 1166 新喜皮革

TEL:079-224-8136

【工場見学】※要予約

日時 11月6日(金) 7日(土)

11時～14時～

各日各回 25名

公式ホームページよりお申し込みください。

<https://shinki-hikaku.jp/blog>

予約開始時期については

Instagramにてご案内します。

新喜  皮革



HP



Instagram

LEATHER FESTIVAL

革の良さ・素晴らしさを手に取って実感していただける、新喜皮革が主催する年に一度のイベントです。日本の皮革製造最大の集積地が姫路であり、革という素材の素晴らしさや可能性を、レザーフェスティバルを通じて楽しみながら知っていただければと思います。

イベントに出店する店舗や新喜皮革の職人に、気になる商品や革の特徴を直接聞きながら購入できるのも、レザーフェスティバルというイベントならではの醍醐味です。

Special Guest



TOCHIGI LEATHER®

【Horween × 栃木レザー × 新喜皮革】

スペシャルトークセッション 11月7日 13時～

日本とアメリカ。異なる土地、異なる文化の中で革づくりを続けてきた3社が、レザーフェスティバルの舞台で特別対談を行います。歩んできた歴史も、扱う素材も、革づくりへのアプローチも異なる3社ですが、その根底にあるのは「良い革を届けたい」という変わらない想いです。本対談では、それぞれの会社が大切にしてきた価値観や技術、時代の変化と向き合う中で守り続けてきたこと、そしてこれからのレザー業界やものづくりの未来について語り合います。



【工場見学】11月6日 & 7日

午前の部 11時～ 午後の部 14時～

※ご参加いただくにはご予約が必要となります。

馬の原皮の仕入れから、「コードバン」、「ホースハイド」の鞣し・乾燥・染色・仕上げに至るまで、長期間にわたる丁寧な工程を一つ一つご紹介。大きな機械の迫力、革の香りや手触り、この日、この場所でしか得られない発見と感動を、ぜひあなたも。



【ウマッチョ】11月6日 & 7日 12時～

新喜皮革と言えば馬！馬といえば、ウマッチョ！？
黄色のマッスルバフオーマウマッチョが今年も新喜皮革にやってきます！

【ぜんじろう】11月7日 15時～

ユーモアを交えた軽妙な語り口で、日常の些細な出来事から国際的な話題までを独自の視点で語ります。ここでしか聞けない話が飛び出すかもしれません。

【スペシャルオークション】11月6日 15時～

非売品やサンプル品など、普段では手に入らないアイテムが多数登場！！

【開催日時】

日時：2026年11月6日（金）～7日（土）

開場：10:00

開場：16:00

場所：姫路市花田町小川1166 新喜皮革

【ご来場の際の注意点】

当日は混雑が予想され、入場をお待ちいただく場合もございます。

お車でお越しの際、メイン駐車場が満車の場合は近隣駐車場をご案内いたします。

駐車場の混雑が予想されるため、公共交通機関のご利用をお勧めいたします。

【バスご利用の場合】

姫路駅北口14番乗り場より「セントラルパーク」「清住」「小原」「社」行
いずれかに乗車してください。

「小川」臨時停留所 で下車していただき、徒歩約5分で新喜皮革へ到着いたします。

【Horween】

1905年、アメリカ・シカゴで創業した老舗タンナー。120年以上にわたり、世界中の革好きを魅了し続け、世界中のブランドや職人から信頼を集めています。効率や大量生産を優先するのではなく、長年積み重ねてきた製法やしびを、守りながら手間を惜しまないものづくりを続けています。イベント当日は、今大話題となっている「Cordvan Tanned Horsebutt Strip」を中心に展示販売、受注販売をいたします。その他レザーのカット販売やグッズも販売いたします。

【栃木レザー】

1937年創業。日本を代表するタンナーの一つとして伝統的な植物タンニンなめしを長年にわたり、守り続けてきました。栃木レザーの最大の特徴は、天然由来の植物タンニンをういて時間をかけて仕上げる製法にあります。効率重視の大量生産とは異なり、革そのものの個性を引き出しながら丁寧に育てるようにつくられた革は、使い込むほどに色艶が深まり、唯一無二の経年変化を楽しむことができます。オリジナルブランド「mogake」ではマットな質感やシボレザーなど新たな表現にも挑戦し、革の新しい魅力を発信しています。

【高乃神社 皮革報恩祭】11月6日 9時～16時

レザーフェスティバル開催期間中、日本で唯一、革の神様をお祀りすると伝えられる高乃神社でも特別企画を同時開催します。

会場では、地元タンナーによる革・革製品の販売を実施。地域に根づく革文化やものづくりの魅力を身近に感じていただけます。また、特別企画として、重要無形文化財保持者・大倉正之助氏による鼓の演奏を予定。革と深い関わりを持つ伝統芸能の音色が、神社の空間を彩ります。

レザーフェスティバル会場からはシャトルバスを運行。革づくりだけではなく、革が受け継いできた文化や歴史にもぜひ触れてみてください。

新喜皮革

1951年創業の馬革専門のタンナー（皮革製造工場）。

欧州産の原皮を用いて、「コードバン」「ホースハイド」の鞣しから仕上げまでの工程を自社にて一貫生産しています。毎年新作の革を試作し、東京レザーフェアや海外の展示会に出品。世界に向けて日本の革づくりを発信しています。

新喜皮革では木製のピット槽を用いて、主に植物由来のタンニンで皮を鞣しており、特有のコシ感が特徴です。その風合いは多くのお客様に支持されています。中でもコードバンは馬の臀部にしか存在せず、その希少性とコードバン独特の質感により多くの愛用者がいらっしゃいます。

近年は新たな試みとして、魚の革の製造にも着手し、新たな素材開発を通じて革の可能性を広げています。

タンナーとして資源の有効活用を進め、持続可能なものづくりへの貢献を目指しています。

新喜皮革のこと、コードバンのこと、魚の革のことをもっと詳しく知りたい方は、YouTube「新喜皮革チャンネル」をぜひご覧ください。



YouTube
新喜皮革チャンネル

Area Map



Local View

